



### 意外な物事の 何故を考えてみる。

今回で、「い・ま・い・き」

も10回目を迎えることが出来ました。私の経験に基づいた今を生きるためのヒントが、少しでも多くの方のお役に立てれば有難いと感じております。

さて話は変わりますが、私自身はこのようにコラムやエッセイを書いたり、自著を何冊も出版して頂いたり、自分の文章によって多少なりとも収入を得られるようになることは、これまで思ってもみませんでした。勉強嫌いで体育会系の私が書いた文章を、多くの方が読んで下さっている。

全国各地の講演会に講師としてお招きいただき、年間に何万人の方が私の話を聞きにきて下さるなんて、そんな事は自分

の夢でも目標でもなかったものですから、この現実が不思議で仕方がないのです。

読者の皆様にしてみれば妙なことを言うなと思うでしょうが、私自身はこの現実を未だに「意外」だと感じており、また少し不安な事だと思っています。

それは「何故」という言葉を意識し始めたからです。

自分の予想していなかった意外な事が起こると人はその理由を考えるようになります。

「何故こんなことが起こったのだろうか？」

良い意味でも悪い意味でも、自分の想定外の事が起こった時には疑問が生じるはずですね。

そしてその現実が長く継続すればするほど、それが例え良いことであっても、理由が分からないままの状態に不安を感じるものです。

しかし、そこで「何故」に対する問いの答えを見つけ出せば、その状態を自分の意思で継続させることも、停止させるこ

とも出来るようになるのです。

多くの人は人生の中でたくさん「意外」に遭遇すると思えます。

悪い「意外」な事には敏感ですぐに対処方法を考えるはずですが、良い「意外」が起こった時にはラッキーな気分を壊したくないので、その理由をあえて追求せずに放置してしまうこともあるでしょう。

世の中には、都合の良いことが根拠もなくいつまでも続くなんて事はありません、もし継続しているのならそこには継続する理由があるはずなんです。

理由を確認しないまま放置していて、突然その都合の良い事が途絶えてしまったら……。理由を確認していなかったがために、対処方法も考えていなかったら……。

一時の喜びに浮かれたままでいると、万が一の事態が起こってしまった時に、立ち直れないかもしれません。そんな事を考えると恐ろしくなりますよね。

物事には全て理由が存在しています。理由や根拠のないものはないのですから常に「何故」を意識する事は大切なのです。

ところで私の「何故」に対する答えですが何となくそうではないかと思う事もあります、まだはつきりと答えを導き出すところまではたどり着いておりません。

ですから、こんな有難い事がいつまでも続くわけでは無いぞと、いつも自分に言い聞かせるよう意識しております。

もし仮に自分に都合の良い事が起こっても手放しで喜ばず、まずは「何故」を確認しておいた方が良いと思いませんか？

### よしだ たいち 吉田太一

1964年大阪市生まれ。調理師、引越運送業を経て、2002年、遺品整理のサポートの必要性を感じ、日本初の「遺品整理専門会社キーパーズ」設立。著書は「遺品整理屋は見た!」「遺品整理屋は見た!! 天国へのお引越しのお手伝い」「孤立死 あなたは大丈夫ですか?」(いずれも扶桑社)など多数。